

■大学入試、改革という名の教育利権

英語民間試験の導入と、大学入試センター試験に続く「共通テスト」での記述式問題導入の問題点が明らかになり、結局、延期になりました。私たちは2年前から問題点を指摘してきましたが、政府与党は無視と言わざるを得ない対応でした。直前の延期による混乱は「だから言ってきたのに」との思いです。受験生が気の毒でなりません。

問題点として、①大学別の二次試験で既に記述式問題は相当行われておりわざわざ共通テストで実施する必要がない、②問題漏洩・情報漏洩のリスク、模擬試験への転用など民間委託にリスクが大きい、③50万人分の答案を20日間で公平・正確に採点することは不可能、学生アルバイトによる採点は言語道断、④自己採点が困難で二次試験の受験先の選択が困難、があります。記述式試験は大学別の二次試験で充実させればよいのです。

英語の民間試験導入も問題だらけでした。すなわち、試験会場が十分でないことによる地理的不平等、試験料2万円に交通費・宿泊費がかかるなど経済的負担などから、結局業者が儲かり高校生が喰いモノにされるだけです。グローバル化の進展に伴い英語コミュニケーション能力「読む・聞く・書く・話す」の4技能向上が課題といわれています。従来のテストでは「読む・聞く・書く」が多く「話す」は行われてきませんでした。「話す」は結局、面接です。必要なら大学別の二次試験で実施すべきです。なお、私自身はアメリカの大学院を修了していますが、日本人は一般的に「読む・聞く・書く」の能力が不足しており、まずはここから取り組むべきです。

教育は「身の丈」ではなく「思いの丈」に合わせて行うべきです。教育格差が経済格差に繋がっている現状を是正すべきです。

立憲民主党 衆議院議員 (兵庫県第6区/伊丹・宝塚・川西)

月刊 桜井 シュウ

さくらい しゅう

2020年3月号

三ツ星議員★★★★

国政報告会のお知らせ (参加費 無料)

日時 3月29日(日) 14:00 ~ 16:00

場所 宝塚市立中央公民館(1階)ホール

日時 4月26日(日) 14:00 ~ 16:00

場所 いたみホール(6階)中ホール

日時 5月24日(日) 14:00 ~ 16:00

場所 アステ川西(6階)

質疑応答の時間をたっぷり取りますので、質問・意見をおよせください。当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、事前申込み頂けると幸いです。(感染症の流行状況により中止となる場合がありますので、予めご了承下さい)

■トピック/カジノで経済成長という幻想

■活動報告/香港出張

新型コロナウイルスは天災か、人災か?

昨年12月に中国湖北省武漢市から広まったとされる新型コロナウイルスの感染拡大は中国だけでなく日本を含む各国で大きな問題です。特に、東アジアを周遊したダイヤモンドプリンセス号では感染が拡大してしまい、世界から注目されました。

ウイルスの突然変異はときどき発生し、中には重篤な病を引き起こすものもあります。今世紀に入ってから、2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)、2009年の新型インフルエンザが流行しました。ですから疫病となるようなウイルスの発生自体は天災といえるでしょう。

他方で、国民の生命を守ることは政治の第一の使命です。そして、対策は、政治的な思惑ではなく医学的知見に基づいて実施されるべきです。感染拡大防止に失敗すれば、それは政治の責任であり、人災といわざるを得ません。

今回の新型コロナウイルスは、「新型」なので

確定的なことはいえませんが、発症していなくても感染源となっている可能性がある、潜伏期間が長いかもしれない、など従来の感染症に比べて厄介な面がありそうです。

さて、今回の政府の対応は、感染拡大という結果をみれば、後手に回ったと言わざるを得ません。入国停止やウイルス検査について、政府は「湖北省縛り」としたところ、自らの決定に縛られて状況変化に対応できませんでした。ダイヤモンドプリンセス号では、横浜港に接岸した2月5日以降、隔離が完全に行われているので船内での感染はない、としました。しかし、実際には対応にあたった厚生労働省職員や検疫官が感染しました。

こうした現状を踏まえて、桜井シュウは、国会審議において政府の新型コロナウイルス対策の問題点について改善案を提案しました。(内面に続く)

【活動報告/香港出張】危機に瀕する香港の自由と人権

桜井周は、臨時国会と通常国会の合間の12月17日~19日に香港に出張しました。実は、香港の自由と人権が危機的状況にあるとして、マスコミ報道に先んじて昨年6月5日に衆議院外務委員会で取上げました。「今日の香港は、明日の台湾」と言われますが、明後日の日本かもしれません。桜井周は、人類普遍的価値である自由・民主主義・人権・法の支配を守るために、香港で20名以上の方々と意見交換しました。そして、香港行政府関係者には強圧的な弾圧を止めるよう求め、民主派議員には非暴力に徹することを求めました。また、現地メディアの記者会見(英語)も行いました。



陳智思(Bernard Chan)氏=右との面談の様子。中央は亀井衆院議員、左が桜井。陳氏は中国全国人民代表大会の議員(香港選出)で金融保険会社のオーナー社長。

桜井シュウ(さくらい しゅう) プロフィール

- 【学歴】美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士
 - 【職歴】国際協力銀行調査役、弁理士、伊丹市議会議員(2期)
 - 【資格】弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格
 - 【家族】妻、子ども2人、犬(トイプードル♀)
- 議員立法の提案、本会議・委員会での審議、質問主意書などの国会活動を評価され、三ツ星議員として政策評価NPOに表彰されました!

発行者: 桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台2-5-11
松屋ビル2F

TEL▶072-768-9260 FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com

URL▶http://www.sakuraishu.net/



桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

- ポスティング
伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。
 - ポスター掲示
ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけたら場所がありましたらご紹介下さい。
 - カンパ
一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)
- お振込先: 三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

新型コロナウイルス対策、桜井シュウの提言

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、政府はあらゆる政策手段を総動員すべきです。桜井シュウは、国民の生命と健康を守り、かつ経済への悪影響を最小限に抑えるために、当初より国会審議などにおいて具体的に提案してきました。

■検査難民という問題、まずは現状把握を!

まず、何事においても現状把握が重要です。新型コロナウイルスに感染している可能性があるとして診療所の医師が判断しても、湖北省縛りや保健所が受け付けないなどで検査してもらえない検査難民という問題が発生しました。社会全体としての把握と患者の早期治療のために、医師が必要と判断した全ての患者についてはウイルス検査を受けられる体制を大至急拡充することを提案しました。つまり、国立感染研究所のみならず、自治体の衛生研究所、民間検査機関など総動員することです。また、費用は、インフルエンザのようにウイルス検査を保険適用とすることを提案しました。

次に、軽症患者は自宅で療養いただくとしても、重症患者は入院が必要です。そして、病院内での感染防止には万全を期さねばなりません。既往の診療とは隔離した病床を確保できるように準備しておくべきです。また、そのための費用を政府が負担するための予算を確保すべきです。

■世界から注目、ダイヤモンドプリンセス号

横浜港に着岸したダイヤモンドプリンセス号については、早期に乗員乗客全員にPCR検査を実施し、感染者は医療機関での診察・治療を、非感染者は宿泊施設で経過観察をそれぞれ行うべき、と提案しましたが、聞き入れられませんでした。その結果、大量の感染者の発生です。

さらに、政府は、2月5日以降には乗客が隔離されたので船内での感染拡大は起きていない、と説明しています。しかし、実際には厚生労働省職員などが感染しており、政府の説明は崩れています。ですが、感染拡大はないという前提で対応を続けており、大変危険です。

■経済・雇用の対策、予算確保など早急に措置すべき

昨年10月の消費税率引き上げでマイナス成長に陥った日本経済ですが、新型コロナウイルス問題でさらにダメージを受けています。特に、海外からの(インバウンド)観光業や、海外と部品供給(サプライチェーン)で繋がる製造業が大きな悪影響を受けています。さらに、自粛ムードで国内観光客や飲食業への悪影響が広がっています。感染拡大防止に加えて、経済・雇用対策も重要です。政府原案には新型コロナ対策費が盛り込まれていませんので、対策費を追加する動議を提出しましたが、自民党・公明党により否決されました。

■政治が歪められると、国民は危険に晒される!

このような安倍晋三内閣の体質は、森友学園・加計学園問題、桜を見る会問題でも見られました。不都合な事実には目を背け、根拠や証拠を示さずに「適切に対応している」とだけ言い続ける。問題を指摘されると隠蔽・証拠隠滅・改竄して、不都合な事実はなかったことにする。しかし、安倍内閣は、公文書をシュレッダーで廃棄できても、新型コロナウイルスを消滅させることはできません。そして、安倍内閣が今そこにある危機をなかったことにすることで、国民の生命を危険に晒している。このようなことがあってはならず、桜井シュウは全力で声を上げて国民を守る決意です。

カジノで経済成長という幻想

1月7日にカジノを含む統合型リゾート(IR)の運営事業者を監督するカジノ管理委員会が発足しました。

桜井シュウは、カジノ利権やギャンブル依存症、マネーロンダリングなどの問題、なによりカジノでは経済成長できないことなどから、カジノに反対です。観光振興は、ギャンブルに頼るのではなく、歴史・文化や自然など日本の良さを磨くべきです。

■日本人が狙われている!

カジノは、客から持ち金を全て巻き上げて、なくなれば次に移動するという収奪的なビジネスです。アメリカでもマカオでも儲からなくなった、だから次は日本の個人金融資産(約1,800兆円)を外資系カジノ大手が狙っています。大阪府・市が推進するIRでは、外国人観光客はほとんど来ず、約8割は日本人客との想定です。日本人が外資系カジノ業者にお金を巻き上げられ、経済成長どころか国内消費が減少し、デフレが深刻化します。

韓国では、カジノを含む統合型リゾートを建設してみたものの、ギャンブル依存症対策費用がカジノの収益を上回っています(韓国カジノの町/カンウォンランドの悲劇)。

【政治コラム】安倍政権の検察人事介入でカジノ疑惑捜査は尻すぼみか?!

カジノ疑惑の捜査が進められる今年1月に東京高等検事長の黒川弘務氏の定年延長が閣議決定されました。検察官の定年延長は史上初の異例です。検察庁法22条で検察官の定年は63歳と厳格に定められており、法律を閣議決定で覆すことはできず、黒川氏の定年延長は違法です。

なぜ違法がまかり通るのか。マスコミ報道によれば、黒川氏は安倍政権と懇意で、森友

■カジノ利権が日本を滅ぼす!

マスコミ報道によれば、自民党の西村康稔議員と平沼赳夫議員(当時)、日本維新の会の小沢鋭仁議員(当時)はカジノ事業への参画を検討している業者等から資金を受けた、とのこと。そして、昨年末にカジノ担当副大臣だった秋元司議員(当時は自民党)はカジノ事業をめぐる収賄容疑で逮捕されました。下地幹郎議員(当時は日本維新の会)は中国企業から100万円を受領したとのこと。

国益には全く繋がらない、それどころか国民を海外のカジノ業者に売り渡すような政策が推進されているのは、自民・維新など与党系政治家が私腹を肥やすためなのでしょう。

■まっとうな成長戦略はコレ!

ハワイにはカジノはありません。ハワイは、ギャンブルに頼らずに、美しい海と山を大切に、フラダンスなどの豊かな文化を磨くことで、世界有数の観光地として愛されています。

日本には、和食などの独自の文化と四季折々の豊かな自然があります。日本が目指すべきは、刹那的な刺激と退廃的なラスベガスのような街ではなく、ココロを豊かにするハワイのような島ではないでしょうか。

学園の公文書改竄問題を穏便に済ませるなど政権に有利な取り計らいをしたのではないかと、そして、今回の人事はカジノ疑惑(贈収賄)や「桜を見る会」疑惑(選挙買収、財政法違反、公文書管理法違反)の捜査を抑えるためではないかと疑われています。本来は政治的に中立でなければならない検察にまで人事介入する安倍政権。行政だけでなく司法までも歪められているのではないのでしょうか。